

グラフの読み取りを通して、社会的な見方や考え方を深める学習指導の工夫

1 単元 これからの食料生産とわたしたち

2 指導目標

日本の食料生産の問題点や解決への動きに関心をもち、どのような方策があるのか意欲的に追究し、自分なりに考えようとする。(社会的な事象への関心・意欲・態度)

我が国の食料生産の抱える問題を、環境への影響、国際協調、生産者と消費者などの観点をもとに考え、その解決に向けてのさまざまな取り組みを考えることができる。

(社会的な思考・判断)

我が国の食料生産の抱える問題についてさまざまな資料から読み取ったことを、目的に応じた方法で自分なりに表現することができる。(観察・資料活用の技能・表現)

我が国の食料生産は国民の生活を支える重要な産業であるが、現在さまざまな問題があり、それらを解決するには、生産者と消費者ができることをともに考えることが必要であることが分かる。(社会的な事象についての知識・理解)

3 指導に当たって

本単元は、我が国の食料生産には、働く人の減少、環境への影響、安全性、低自給率などの問題点があることを理解し、国民の食糧の確保のために、食料生産をめぐる問題をどのように解決するか、さまざまな立場の考えを受けとめながら、自分なりの考えを深めることをねらいとしている。

表1 実態調査

質問1 稲作をしている農家の人たちの工夫を書きましょう。(複数回答)			質問2 水産業の変化と工夫を書きましょう。(複数回答)			
内容	人数	主な記述内容	変化の記述内容	人数	工夫の記述内容	人数
食の安全性	16	・堆肥の利用	漁の仕方	18	養殖・栽培漁業に力を入れて	21
仕事の効率化	16	・大型機械の導入	働く人の減少	16	ててる。	
		・水田の区画整理	生産量の減少	12	自然環境を守るための工夫	9
自然を生かす	7	・ビニルハウスで苗作り	輸入量の増加	5	新鮮なままで運輸する工夫	5
研究と開発	4	・「はえぬき」の開発	消費者の食生活	5	水産資源を守る工夫	2
米の生産調整	3	・「転作」への変化	変化		無答	4
無答	3		無答	4		

表1は、本単元学習前に実施した稲作と水産業の学習についての実態調査の結果である。児童の記述から、学級の大部分の児童は、それらの産業について、教科書に書かれている言葉上の理解はできている。しかし、食料生産について、自分たちの生活との関わりでとらえたり、生産者や消費者などさまざまな立場から、生産の工夫や食料生産の抱えるさまざまな問題について考えを深めたりしている児童は少ないと考える。また表2に、資料を活用する学習に対する意識調査の結果を示した。この結果から、地図やグラフをもとに考える学習に対して、学級の約半数の児童が苦手意識をもっていることが分かる。

表2 意識調査

質問 地図やグラフなどをもとに、考える学習は好きですか。			
好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い
7人	9人	11人	4人

そこで、本単元では、食料生産のかかえる様々な問題を具体的にとらえ意味について考えたりするために、観点や質問事項を決めて詳しく見たり聞いたりするなどの調査活動や、地図や統計などの各種の基礎的資料を読み取る学習活動を設定する。さらに、まとめの学習として、調べ考えたことの発表と話し合いで交流する学習を行う。同じ学習をした友達と互いの考えを確かめ合うことで、これまでの学習を振り返り、新しい気付きや考えの深まりにつなげていきたい。

4 単元の評価規準

社会的な事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の技能・表現	社会的な事象についての知識・理解
自分の生活と食料生産との関わりをもとに、我が国の食料生産の現状や未来について、自分なりに考えようとする。	我が国の食料生産の抱える問題についてさまざまな観点をもとに、自分なりに考えている。	我が国の食料生産の問題点について、各種の資料から読み取ったり、調べる過程でわかったことや考えたことを根拠をもって表現している。	我が国の食料生産は国民生活を支えていることや、これからの食料生産には、さまざまな課題があることを理解している。

5 授業実践

(1) 単元名 これからの食料生産とわたしたち

(2) 単元計画と評価規準(9時間扱い)

次	時	学習課題と活動	形態	シート	学習活動における具体的な評価規準
問題に目を向ける	1	日本の食料について、グラフをもとに調べる。  日本の食料について調べよう。	一斉 個別	a	【技能・表現】 輸入食料、国産と外国産の農作物の値段の違いを資料から読み取ることができる。 十分満足できると判断される状況 ・調べたことから、見通しや予想をもって学習を進めている。 努力を要する状況の児童への手だて ・教師の助言でワークシートに記入できるようにする。
	2	食材調査結果のグラフや栄養職員による話から、学習問題を作る。  日本の食料生産について調べていこう。	一斉 個別	b c	【関・意・態】 食材調べ結果や栄養職員の話から、日本の食料生産に関心をもち、意欲的に調べようとしている。 十分満足できると判断される状況 ・進んで質問したり、ワークシートに記入したりしている。 努力を要する状況の児童への手だて ・教師の助言でワークシートに記入できるようにする。
問題を具体的に与えられる	3	日本の食料自給率について、グラフをもとに調べる。  日本の食料自給率について調べよう。	一斉 グループ 個別	d	【技能・表現】 食品ごとの自給率や日本の食料自給率を資料から読み取ることができる。 十分満足できると判断される状況 ・資料から読み取った事実を関連付けて表現したり、自分の考えを事実即して記入している。 努力を要する状況の児童への手だて ・グループの友達の助けや教師の助言でワークシートに記入できるように助言する。
	本時	日本の農業におきている問題点について、グラフをもとに考える。  日本の農業には、どんなことがおきているのだろう。	一斉 グループ 個別	e	【思考・判断】 耕地面積の変化、農業就業者数の変化を資料から読み取り、日本の農業におきている問題点について考えることができる。 十分満足できると判断される状況 ・自分の考えを、グループの友達と交流している。 努力を要する状況の児童への手だて ・グループの友達の助けや教師の助言でワークシートに記入できるように助言する。
	5	輸入食料の長所と短所について、グラフや関連記事をもとに考える。  輸入食料の長所と短所について考えよう。	一斉 グループ 個別	f	【思考・判断】 輸入食料と国産食料の量の変化、それにもなう問題点を資料から読み取り、輸入食料の短所と長所について考えることができる。 十分満足できると判断される状況 ・グループの友達の話し合いをもとに、自分の考えを見直したり書き加えたりしている。 努力を要する状況の児童への手だて ・グループの友達の助けや教師の助言でワークシートに記入できるように助言する。
問題の解決について考える	6	農業におきている問題点を与える様々な社会的な問題点について、資料や話し合いをもとに考える。  農業生産が減ることによって、どのような問題がおきるのだろう。	一斉 グループ 個別	g	【思考・判断】 農業におきている問題が自然環境や世界の食料不足に与える社会的な意味について考えることができる。 十分満足できると判断される状況 ・自分の考えを、グループの友達と交流している。 努力を要する状況の児童への手だて ・グループの友達の助けや教師の助言でワークシートに記入できるように助言する。
	7	県の栽培漁業センターの職員の方の話から、これからの漁業について考える。  栽培漁業センターの方の話聞いて考えよう。	一斉 個別	h	【思考・判断】 県の栽培漁業センターの職員の方の話から、これからの漁業生産について考えることができる。 十分満足できると判断される状況 ・進んで質問したり、ワークシートに記入したりしている。 努力を要する状況の児童への手だて ・教師の助言でワークシートに記入できるようにする。
	8 9	これまでの学習をもとにして、これからの食料生産についての自分の考えをまとめ、全体で話し合う。  日本の食料生産を発展させるには、どうしたらいいだろう。	一斉 グループ 個別	i	【思考・判断】【知識・理解】 これまでの学習から、これからの食料生産について自分の考えをまとめ、発表することができる。 十分満足できると判断される状況 ・根拠をもとに自分の考えをまとめ、発表している。 努力を要する状況の児童への手だて ・これまでのワークシートから考えるように助言する。

6 本時の学習

- (1) 目標 耕地面積，農業就業者数の変化などのグラフを読み取り，日本の農業におきている問題点を調べ，その意味を考えることができる。
- (2) 本時の工夫点  
 グラフを示したワークシートを活用し，読み取ったことや考えたことを書き込めるように工夫する。  
 前時までのまとめを示した板書カードを用いて，日本の農業の問題点についてこれまでの学習と関連付けて考えることができるよう工夫する。
- (3) 準備・資料 ワークシート，掲示用グラフ，前時までのまとめを示した板書カード
- (4) 展開（ は全体に対して， は個に対しての支援， 評 は評価）

学習活動及び内容	支援・手だてと評価
<p>1 本時の学習内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>日本の農業には，どんなことがおきているのだろう。</p> </div> <p>2 グラフを読み取る。</p> <p>(1) 農業就業者数の変化について考える。</p> <p>(2) 耕地面積の変化について考える。</p> <p>3 グラフから読み取ったことを発表し合い，全体で話し合う。</p> <p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業で働く人がどんどん減っている。</li> <li>・ 59才以下の方がずっと減り続けている。</li> <li>・ 60才以上の人数は変化がない。</li> <li>・ 耕地面積も減り続けている。働く人と関係があるのかな。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>両方のグラフからどんなことがわかるだろう。</p> </div> <p>4 話し合いをもとに，日本の農業にどんなことがおきているのかについてまとめる。</p> <p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業で働く人が減り，生産量が減っている。働く人の高齢化も問題だ。</li> <li>・ 農業で働く人がこのまま減り続けたら，輸入ばかりに頼ってしまうから，働く人を増やさないといけない。</li> </ul> <p>5 次時の学習について確認をする。              輸入作物と国内生産作物の関係と問題点を考えよう。</p>	<p>前時までにまとめた，日本の課題について確認し，板書する。そうすることで，本時の学習との関連に気付くようにしたい。</p> <p>グラフから見つけた疑問や気付きをできるだけたくさんワークシートに書き込むよう伝える。</p> <p>「農業就業者数の変化」のグラフでは，過去の変化を読み取るだけでなく，読み取ったことをもとに，未来のことを考えさせる。</p> <p>未来を予想するときは，なぜそう考えたのか，根拠を明らかにしておくよう，助言する。</p> <p>机間指導しながら児童の考えを把握しておき，全体での話し合いに生かせるようにする。</p> <p>考えが書けない児童に対して，グラフの読み取りについて補足説明したり，一緒に確認したりする。</p> <p>ワークシートをもとに，それぞれが見つけた疑問や気付きを発表させる。</p> <p>友だちの発表からも自分の気付きが見出せることを助言し，どの児童も目的をもって話し合いができるようにする。</p> <p>話し合いではハンドサインを活用して，同じ考えや違う考え，疑問に思った点を明確にしながら進められるようにする。</p> <p>児童一人一人の様子を観察しながら話し合いを進め，つぶやきなども取り上げていけるようにする。</p> <p>2つのグラフから気付いたことやわかったことはないか，問いかける。</p> <p>2つのグラフの共通点を発見させることによって，資料の見方を身に付けさせるようにする。</p> <p>話し合いをもとに，日本の農業におこっている問題について自分の言葉でまとめられるようにする。</p> <p>グラフの読み取りで書けなかった児童を中心に机間指導をする。</p> <p>自分の考えがまとまらない児童に対しては，教師の助言でワークシートに記入できるようにする。</p> <p>時間内に終わり余裕がある児童に対して，終わった児童と考えを交流するよう伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評 グラフで読み取ったことや話し合いをもとに，日本の農業の問題点について考えている。（思考・判断，ワークシート）</p> </div> <p>次時の学習内容について伝え，学習意欲の向上を図る。</p>